

普段から備えておきましょう（非常持出用）



※ 非常食と飲料水については定期的に賞味期限を確認しましょう。

お役立ち電話帳

水戸市役所	224-1111	石川中学校	254-1700
石川市民センター	252-2989	石川小学校	251-1519
水戸警察署	233-0110	石川幼稚園	252-2990
赤塚駅前交番	253-0110	赤塚幼稚園	251-9203
石川町交番	254-0110	赤塚郵便局	252-8550
水戸市消防本部	221-0111	東赤塚郵便局	253-4345
北消防署赤塚出張所	252-9246	J R 赤塚駅	251-9517
火災の問い合わせ	221-0115	赤塚ハイヤー	251-2468
水府病院	309-5000	観光第一交通タクシー	253-1123
夜間・休日診療所	243-8825	さわやかタクシー	232-0121

※ 町内会・自治会やコミュニティに関することは、市民センターまでお願いします。

もし大きな地震や災害が起きたら、石川地区の指定避難所は「石川市民センター・石川小学校・石川中学校」になります。災害時にどこへ避難するのか事前に確認をして、家族と連絡が取れなくても一人で行動できるよう心がけましょう。

わが家の避難先は

です。

※ 家族の避難先を決めておきましょう

保存版

平成 28 年 4 月発行

保存版

石川地区
まちづくり
プラン

みんなが元気な街・いしかわ



石川地区コミュニティ連絡協議会

石川地区の概要

石川地区は、北は沢渡川以南、南は常磐線以北、東は石川1丁目の一部と石川2丁目、東赤塚まで、西は赤塚2丁目と堀町までのエリアになっています。隣接している地区は北から時計回りに渡里、堀原、常磐、梅が丘、河和田、赤塚、上中妻、双葉台です。

地区内を大きく分けると、石川、堀、赤塚となりますが、昭和30年4月の合併（昭和の大合併）まではそれぞれ水戸市、渡里村、河和田村だった場所です。このような地区は、市内でも珍しいところと言えます。

かつてはかぼちゃの栽培が盛んで、江戸時代末期には大量に栽培され「石川かぼちゃ」の名前で常澄から那珂川を下って、県外にも出荷されました。しかし、昭和に入り太平洋戦争の末期には深刻な食糧難になり、かぼちゃからさつまいもへ栽培する種類を変えていったそうです。今ではかぼちゃは栽培されていませんが、地域のイベント「石川かぼちゃまつり」にその名前を残しています。

石川地区いまむかし



西部図書館

西部図書館は平成4年4月23日に開館された水戸市の図書館です。蔵書冊数は、103,000冊です。中世ヨーロッパ風の建築空間を思わせる円形ドーム型の建物は、中央吹き抜け部壁面が2階書架となっていて、本に包まれているような雰囲気を感じさせています。設計者は、横浜赤レンガ倉庫2号館や大船渡市民文化会館・市立図書館を手がけた新居千秋氏で、平成5年には建築界の芥川賞といわれる『吉田五十八賞』を受賞しています。また、映画『図書館戦争』の撮影ロケ地にもなりました。



飯綱神社

飯綱神社は、安土桃山時代の文禄3年に下妻大宝八幡神社の御分霊を現地に奉鎮されたのがはじまりです。延宝6年に奉納された鰐口には、茨城郡赤塚村鎮守八幡宮と刻まれていることから八幡神社であったことが分かります。

光圀公の社寺整理のため一旦廃絶しましたが、元禄5年に社域に祭られていた飯綱権現を祭る社として復活しました。明治維新後には権現は相応しくないとこれを改め神社となり、格も村社として村全体で祭典を行うこととなりました。永年にわたり旧赤塚村の氏子や住民から親しまれてきた鎮守様です。

茨鉄線

茨鉄線は、かつて赤塚駅から上水戸、茨大前（当時の駅名は大学前）を経由して御前山駅までを結んでいた茨城交通の鉄道路線です。茨城交通になる前に運営していた茨城鉄道の名前から茨鉄線と言われていました。

大正15年に赤塚-石塚間が開業し、昭和2年に全線開通しました。線路距離は25.2kmで16駅ありましたが、昭和46年には全線が廃止されました。石川地区内には赤塚と東石川（60年代前半にそれまでの金比羅前から改称）の2駅があり、東石川駅は今の東赤塚アパート入口バス停の場所でした。かつて線路だった道路を今でも「電车道」という方もいます。



コミュニティプランとは

水戸市は、都市づくりの基本計画の中で、活力あるまちづくりを目指した地域コミュニティ活動や特色ある地域づくりのために全地区でコミュニティプランの作成を推進しています。

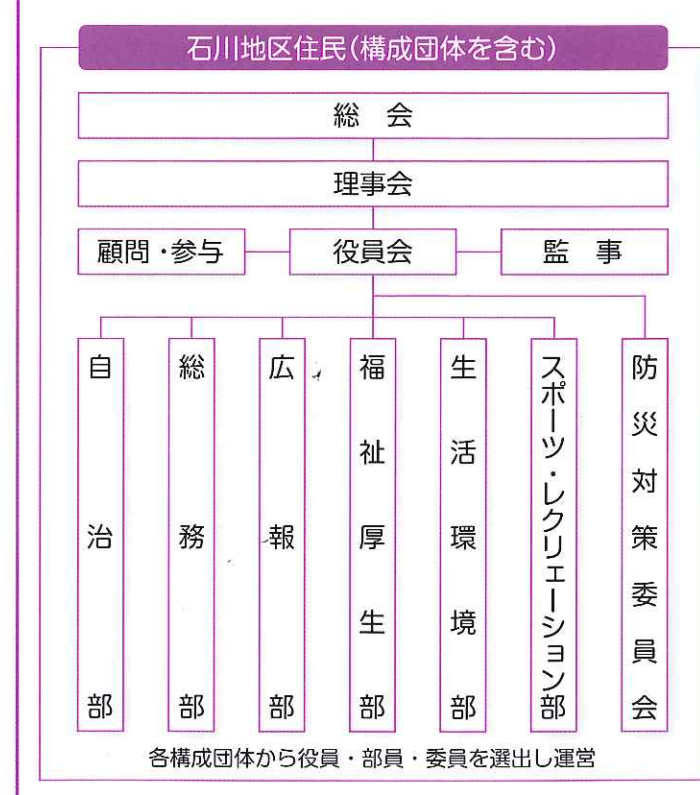
東日本大震災では、石川市民センターでも、給水や炊き出しなど、声をかけ合い協力して避難所を運営する機会があり、「人とのつながり」の大切さを実感しました。災害時はもちろん、日常生活の中でも住民同士、さらには住民と行政が手を携えて自分たちの生活をより良いものにしていくことが求められています。そして、それぞれの地区の実情に合わせて、住みよいまち・互いに協力し合うまちをつくる指針となるのがコミュニティプランです。



石川地区コミュニティ連絡協議会とは

石川地区コミュニティ連絡協議会は、地域住民及び地域の各種団体相互の連絡調整、情報の伝達交換並びに共同事業を企画し、併せて生活環境の改善及び福祉等コミュニティ活動の推進並びに住民相互のふれあいと融和を図り、明るく住みよい地域づくりを目的としています。

石川地区コミュニティ連絡協議会 組織図



【自治部】・各町内会、自治会の諸問題を解決するための情報の提供や交流

【総務部】・総会をはじめ各会議の資料作成
・行事に関する配付物の印刷

【広報部】・広報紙「ふれあいひろば」発行
・行事の取材、写真撮影

【福祉厚生部】・交通安全指導ボランティア
・子育て支援
・いしかわのひなまつりの運営

【生活環境部】・花壇コンクール、花苗の配布
・環境美化の日の運営

【スポレク部】・レクリエーション全般
・スマートシニア対象行事の開催

石川地区コミュニティプラン

良いな石川

みんなが住みたくなる安全で美しいまち

安心して住める安全なまち・心が安らぐ美しいまちに暮らすことは、豊かな生活の根幹となるものです。

また、東日本大震災の教訓から災害に強いまちづくり、人づくりを忘れてはいけません。

誰もが住みたくなるような、清潔で花があふれ、治安が良く、安全・安心に暮らせるまちを目指します。



◆安心・安全なまちづくり◆

- ◆危険箇所調査と改善の要望
- ◆小学生登校時の交通安全指導協力
- ◆防災対策協力委員の設置
- ◆防災対策会議の実施
- ◆被災対応マニュアルの作成
- ◆防災訓練の実施（3箇所の避難所持ち回り）

●将来プラン

- ボランティアによる地区内花壇整備と清掃

◆美しいまちづくり◆

- ◆花壇コンクールの実施
- ◆市民センター花壇整備
- ◆ボランティア清掃（市民センター・西部図書館）

幸せ石川

みんなが生き生き暮らすまち

多くの高齢者が元気で生き生きと生活し、社会とつながり貢献していくことは、地域の活力となります。健康寿命を伸ばし、活躍する高齢者を応援する活動をスマートシニアプランと名づけ推進します。

また、子育てのしやすいまち・地域で子どもを育てるまちを目指して、幼・小・中学校や子ども会育成連合会、青少年育成会との連携を強化します。



◆シニアが元気なまちづくり◆

- ◆スマートシニアスポーツレクリエーションの実施
- ◆スマートシニアゴルフ大会の実施

●将来プラン

- スマートシニア協力隊（仮）の結成
花壇整備や地区内清掃ボランティア
- スマートシニア・ティチャーズ（仮）
シニアの知恵と経験を受け継ぐ活動

◆子育てのしやすいまちづくり◆

- ◆子育て広場（毎月第1・第3水曜）開催
- ◆幼・小・中学校と連携して積極的に協力
- ◆地区内イベントへの子どもの参加推進
- ◆子ども会活動の支援

- 子育て相談会の実施
- ママのカルチャー教室（仮）の開催
- 子育て支援ボランティア研修会の実施

変るぞ石川

みんなので改善・進歩するまち

東日本大震災を契機に人との絆や地域のつながりが見直され、町内会の存在がクローズアップされました。石川地区の皆さんの幸福度がアップするように、建設的な意見や人をどんどん取り入れる柔軟なコミュニティを目指します。

また、町内会に加入する世帯を増やすため、町内会の役員を誰でも安心して引き受けられるように活動の簡略化、明瞭化を図ります。

◆みんなが主役・全員参加のまちづくり◆

- ◆毎年スローガンを決定
- ◆広報紙「ふれあいひろば石川」の充実

●将来プラン

- 多様な人材を発掘し、得意分野での協力依頼
- 住民アンケートの実施



◆町内会・自治会活動の充実◆

- ◆町内会長研修会の実施
- ◆町内会区割りの明確化
- ◆町内会資料の充実
- ◆ブロック長会議の実施

- 町内会区割りの再編
- 転入世帯加入の推進
- 町内会長サポート資料の作成

和がある石川

みんなの和（輪）を大切にすまち

日常生活にメリハリを付け、地域の団結を高めるには「お祭り」が欠かせません。世代を超えて参加できるイベントを企画し、ふれあいの場を提供します。

また、コミュニティ構成団体との連携を強化し、それぞれの団体が主催する各種行事を積極的に応援し、ふれあいの輪を広げるお手伝いをします。



◆世代を超えてふれあうまちづくり◆

- ◆ふれあいまつりの実施
- ◆市民運動会の実施
- ◆歩く会の実施
- ◆子育て広場クリスマス会実施
- ◆いしかわのひなまつりの実施
- ◆スポーツレクリエーション（卓球・ゴルフ・ボウリング）大会実施

●将来プラン

- 構成団体との連携強化

◆幸せ広げるまちづくり◆

- ◆かぼちゃまつり（青少年育成会）協力・参加
- ◆敬老会（社協）協力
- ◆ふれあい昼食会（社協）協力
- ◆かるた大会（子ども会）後援

指定避難場所

石川地区防災マップ

災害時生活用水協力井戸



- A** 石川市民センター
- B** 石川小学校
- C** 石川中学校

指定避難所とは

自宅や勤務先が危険な状態で、生活できない時などに避難し、寝泊まりできる場所です。石川地区の指定避難所（市民センター・小学校・中学校）には、初動段階に必要な備蓄物資・資機材が配備されています。

【主な備蓄物資・資機材】

クラッカー・水・紙コップ・簡易トイレ・トイレットペーパー・アルミシート・ランタン・ラジオ・発電機など

指定避難所へ避難する際には、日頃から用意している避難用品と夏でも毛布を持参する事が大切です。

震度5弱の地震が発生した時は、必要に応じて石川市民センターを避難場所として開設します。

災害時生活用水協力井戸とは

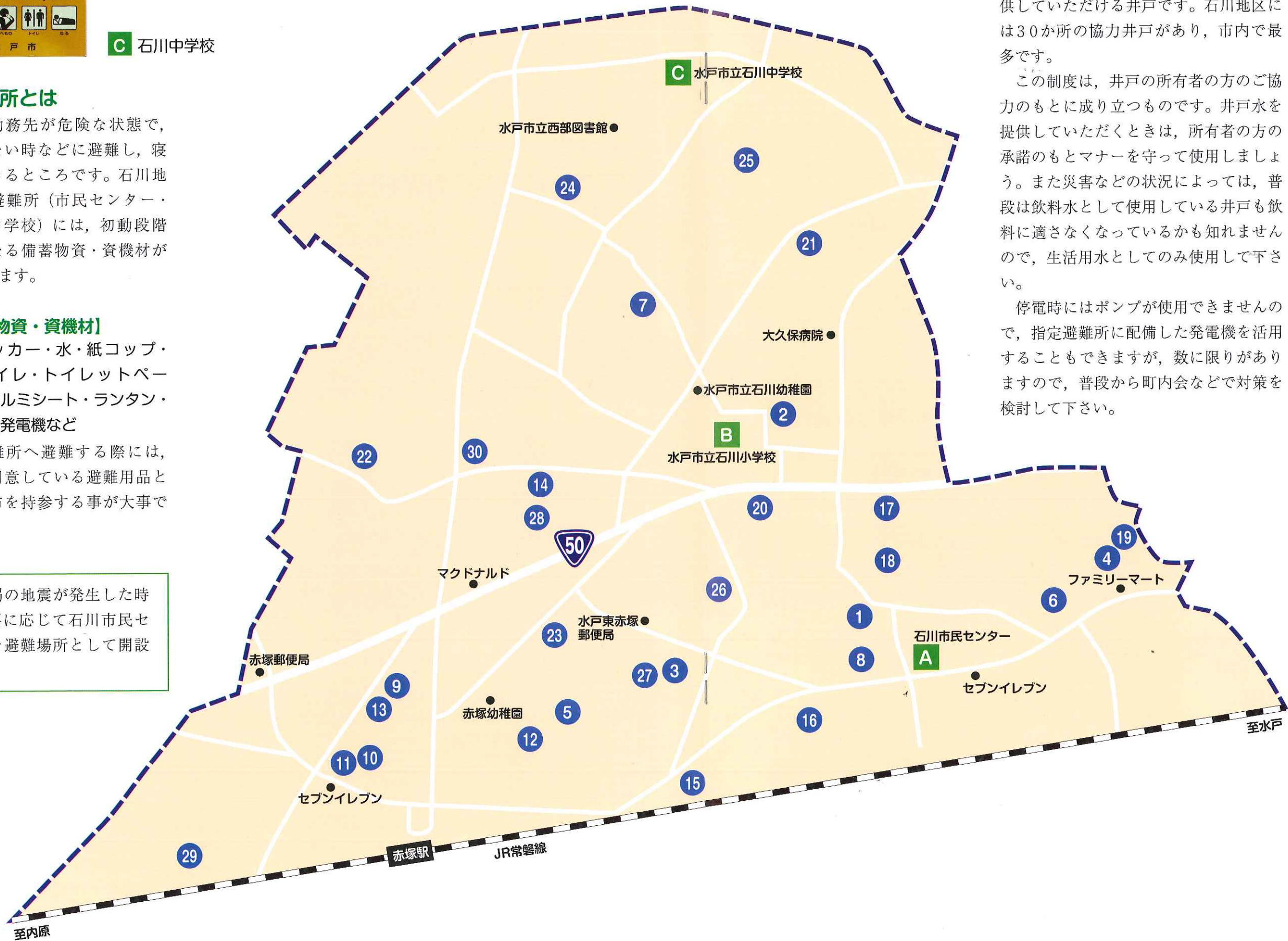
災害による断水時に、洗濯・トイレなどに使用する生活用水として井戸水を提供していただける井戸です。石川地区には30か所の協力井戸があり、市内で最多です。

この制度は、井戸の所有者の方のご協力のもとに成り立つものです。井戸水を提供していただくときは、所有者の方の承諾のもとマナーを守って使用しましょう。また災害などの状況によっては、普段は飲料水として使用している井戸も飲料に適さなくなっているかも知れませんので、生活用水としてのみ使用して下さい。

停電時にはポンプが使用できませんので、指定避難所に配備した発電機を活用することもできますが、数に限りがありますので、普段から町内会などで対策を検討して下さい。



- 1 石川 3-4182-7
- 2 石川 4-4029-1
- 3 赤塚 1-404-14
- 4 石川 2-4313-1
- 5 赤塚 1-390-17
- 6 石川 2-4269-1
- 7 堀町 2250-6
- 8 石川 3-4172-2
- 9 赤塚 1-2015-44
- 10 赤塚 1-2014-7
- 11 赤塚 1-1984-1
- 12 赤塚 1-378-1
- 13 赤塚 1-2015-10
- 14 赤塚 2-2018-114
- 15 東赤塚 3-5
- 16 東赤塚 236-7
- 17 石川 2-4051-16
- 18 石川 2-4196
- 19 石川 2-4326-2
- 20 石川 3-4125-2
- 21 石川 4-3894-2
- 22 赤塚 2-2042-4
- 23 赤塚 1-382-4
- 24 堀町 2293
- 25 堀町 2023-185
- 26 石川 3-4135-9
- 27 赤塚 1-403-1
- 28 赤塚 2-2018-127
- 29 赤塚 1-1955-5
- 30 赤塚 2-2019-105



地震が起きたら

身の安全確保 (落下物から身を守る)

火元の確認 (台所やストーブなど)

家や家族の安全確認 (出口の確保, ガラスや落下物への注意, 家族の安否確認)

隣近所への声かけ (困っている人がいれば助ける)

災害情報, 避難情報の入手

避難所への避難手順

ガス, 電気の始末 (ガスの元栓を閉め, ブレーカーを下ろす)

避難用品準備 (非常持出品, 貴重品, 食糧)

※非常持出品は, 裏表紙を参照してください。

戸締り (家の前に行先を表示する)

隣近所への声掛け (避難所に行くことを知らせる)

避難所へ (落下物, 瓦礫に十分注意する)

※ブレーカーを復旧する場合は, 必ず出火する危険のあるものがないか確認しましょう (アイロンなど)。

《 災害情報の入手 》

災害時には, より早くより正確な情報を得ることが重要です。テレビ, ラジオ, 広報車, 市のホームページ以外にも, 以下の情報源があります。

〔 FMぱるるん (76.2MHz) 〕

被害状況だけでなく, 避難所の開設状況や給水場所についての情報が得られます。

〔 指定避難所の無線機 〕

市内の市民センターと小中学校に無線機が配備されています。市と各地区, 地区相互に連絡できるので, より正確な情報が得られます。電話が使えない場合は, 緊急連絡用としても活用できます。

〔 メール, SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) 〕

携帯電話への緊急速報メール (登録不要), メールマガジン (要登録) などを始め, ツイッターやフェイスブックでも災害情報が発信されています。

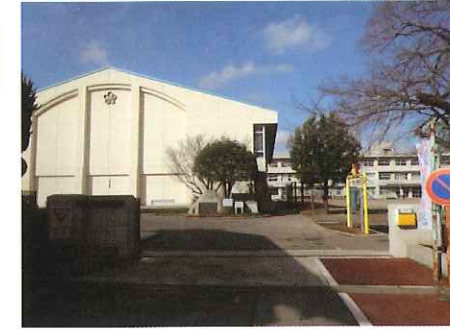
情報を入手したら隣近所にも声を掛けて, 情報が漏れなく伝わるようにしましょう。

《 石川地区の指定避難場所 》

○ 石川市民センター



○ 石川小学校



○ 石川中学校



〔 ブロック別避難所の割り当て 〕

避難所	ブロック	収容人数
石川市民センター	石川上区, 赤塚団地, 明神町, 東赤塚, 石川下区	約200人
石川小学校	石川西, 石川南, 東巡見, 西巡見	約500人
石川中学校	堀, 筑見, 北巡見, のだはら	約500人

※割り当てや収容人数は, あくまで目安です。

〔 避難所で注意したいこと 〕

○ 自主避難者のペットは, 原則として受け入れません。

○ 高齢者や障害者については配慮しますが, 状況によっては福祉避難所が開設されますのでそちらへの移動が可能です。石川地区内の福祉避難所は, 老人福祉センターあかね荘とデイサービスセンターあかつかの2つがあります。

《 在宅避難者について 》

避難所で生活をしていなくても, 避難者と同様に支援の必要な方々を「在宅避難者」と言います。非常食や飲料水等については避難所にいる人が優先となり十分な対応が出来ない可能性があります。普段から非常持出品以外にも備蓄しておきましょう。

〔 備蓄しておきたいもの 〕

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 飲料水 (1人1日3ℓが目安) | <input type="checkbox"/> 非常食 (3食3日分が目安) |
| <input type="checkbox"/> ブルーシート | <input type="checkbox"/> 簡易トイレ |
| <input type="checkbox"/> ポリ袋 | <input type="checkbox"/> 軍手 |
| <input type="checkbox"/> ガムテープ | <input type="checkbox"/> ロープ |
| <input type="checkbox"/> トイレットペーパー | <input type="checkbox"/> ローソク |
| <input type="checkbox"/> ライター | <input type="checkbox"/> 缶切り |
| <input type="checkbox"/> 携帯コンロ | <input type="checkbox"/> ラップ |
| <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ | <input type="checkbox"/> カイロ |
| <input type="checkbox"/> など | |

《 災害時の家族との連絡方法 》

〔 災害用伝言ダイヤル 171 〕

● 災害用伝言ダイヤル ※1件につき30秒まで録音 ●10件まで録音可能 ●利用期限は2日間

171 市外局番などは不要

→ 伝言を録音する ⇒ 1 ⇒ (000)□□□-□□□□ ⇒ 伝言を吹き込む

→ 伝言を再生する ⇒ 2 ⇒ (000)□□□-□□□□ ⇒ 伝言を聞く

被災地の方は自宅の電話番号を, 被災地以外の方は被災地の人の電話番号を市外局番から入力

〔 災害用伝言サービス 〕

携帯電話各社のサービスです。お使いの携帯電話会社にお問い合わせください。

コミュニティの構成団体を紹介します

石川地区民生委員児童委員協議会



民生委員児童委員の活動は、地域住民の身近な相談相手、専門機関へのつなぎ役です。高齢者や障がいのある方の安否確認や見守り、子どもたちへの声かけ等を行っています。医療や介護、子育ての不安、失業や経済的困窮による生活上の心配ごとなど、さまざまな相談に応じています。

石川地区青少年育成会



当会は、石川かわら版の発行・こどもの安全守る家・石川かばちまつり・星の観察会・20才の私へなどの企画と運営、石川小学校通学班長腕章・ランドセル防犯ステッカーの作成や配付などを行っています。今後ともご理解ご支援をよろしくお願い致します。

石川地区体育振興会



運動会、歩く会、ゴルフ、スマートシニアスポレク、卓球、子ども達の球技大会などスポーツに関するイベントを常にサポートし、地域で開催するふれあいまつりやかばちまつりなどの行事にも「みんなが元気な街・いしかわ」のために積極的に参加しています。

石川地区女性防火クラブ



女性防火クラブは「家庭や地域から火災を起こさないよう火災予防につとめます」をスローガンに、地域の行事・防災訓練・消防出初式・黄門まつり等に協力参加し、安心で安全な街づくりを目指しています。また、住宅用火災警報器の普及も続けてまいります。

水戸市社会福祉協議会石川支部



今年4月から社会福祉事業団と一緒にあります。従って従来の本会の事業(高齢者・児童生徒・母子父子家庭・子育て等の支援)の他に障害者・病弱者の生活支援のお手伝いをします。そのための活動費は地域の皆様の社協会費・共同募金に頼っています。どうぞよろしく願います。

石川地区高齢者クラブ連合会



現在石川地区には7つの高齢者クラブがあります。それぞれのクラブがいろいろな活動をしており、例として日帰り旅行で会員のコミュニケーションを取っています。連合会の活動では幼稚園、石川小学校へ訪問し昔の遊びやゲームを一緒に行ったりしています。

石川女性会



以前の「婦人会」が現在は県地域女性団体連絡会となり、略称「女性会」として地域貢献・募金・子育て支援の活動をしています。ふれあいまつりやかばちまつり等イベントに参加、また女性教養講座を開設しています。地域をつないでいる女性の力が輪になる事を願っています。

石川小学校PTA



石川小は、平成27年に創立60周年を迎えました。創立以来大切にしてきた、地域・職員・保護者が一丸となって児童を守り育む風土の素晴らしさを再認識すべく、「絆」をスローガンに掲げ活動しています。今後も地域の皆様の温かいご指導、ご協力をお願い致します。

石川中学校PTA



「ふれあいまつり」では、そばうどんを担当している石川中学校PTAです。お正月には生徒会と一緒に中学校の正門に門松を作り、地域の皆様に趣をお届けしています。心触れ合うあたたかい地域づくりのためにアクティブに楽しく活動中です！

石川学区子ども会育成連合会



子ども会は、異年齢交流ができる場と考えます。そういう中で子ども達は、素直に泣き、笑い、時には怒ります。私達は、主な行事であるリーダー宿泊研修、球技大会、かるた大会を通じて、このような感情を大事に育みたいと思っています。子ども達の成長を皆さんで見守っていきましょう。

石川中学校夜間開放運営委員会



石川中学校の体育館を舞台に、19:30~21:30の約2時間各種スポーツを実施しています。現在は、バスケットボール・新体操・飛び込み・ソフトバレーの4種目を曜日別に行っており、毎週たっぷり汗をかく日頃の運動不足を解消しています。

水戸市消防団第13分団



平素は消防団活動に多大なるご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございます。当分団は、現在20名で火災の出動だけでなく、防災予防運動、年末年始夜警、防災訓練など、地域防災の中心的存在として、団員すべてが地域の安心、安全のため活動しています。

石川地区芸能振興会

「新春芸能まつり」を1月11日(成人の日)に石川市民センターで開催しました。観客を含め約120名の参加者がありました。今回で18回になります。今年はアトラクションに「あかね太鼓」の迫力ある演奏があり好評でした。演目は唄と踊りのついでです。民謡・民舞・新舞踊・カラオケ・フラダンスと多彩です。プログラムの日数は約100曲です。今後も地域のみなさんご協力をお願い申し上げます。来年の正月もまたお楽しみに。

石川中学校教育後援会



教育、部活動などで、関連するサポートを実施しています。外部活動として、市民運動会では審判係りを、ふれあいまつりでは飲食販売をボランティアとして参加しています。生徒や地域の方たちとふれあう事が多く、楽しく活動しています。

石川小学校夜間開放運営委員会



市民のスポーツレクリエーションの場として健康増進と地域の連携を目的に学校施設を開放しています。現在卓球、バドミントン、インディアカ、ソフトバレーの4種目、午後6時~9時迄誰でも参加出来ます。初心者からベテラン迄楽しみながら汗を流しています。

水戸市保健推進員連絡協議会石川支部



推進員は、市の保健事業と地域の皆様との掛け橋として活動しています。成人、高齢者に健診の勧め、大腸ガン検診申し込み時の受付の手伝い等。地域では「いきいき健康クラブ」をシルバーリハビリ指導員と協力運営。健康寿命の延長を目標に、大勢の参加者と共に、楽しく頑張っています。

石川ふれあい電話・和と輪の会



この会は、発足以来25年を迎えます。石川地区に住む一人暮らしの高齢者に、電話により健康と安否の確認を行っています。社協、民生委員、女性会、石中ボランティア委員会の皆様のご協力をいただき、活動しております。



市民運動会にて